

2025年度 施策マネジメントシート【2024年度実績評価】 作成: 2025 年 6 月 18 日

施策番号	施 策 名	上下水道の整備	基本目標	自然と共生する災害に強い安全・安心のまちづくり		
4-3-3			政策名	自然と調和した持続可能な生活環境の整備・保全		
	主 管 課	水道課	課長名	次 田 裕 二	内 線	427
	施策関係課					

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図				結果		
上下水道等の整備により、ライフラインを確保し、快適な生活環境の維持に努めます。		上下水道等施設	・老朽化した施設の改築更新・耐震化				安全・安心な上下水道の安定提供		
成果指標		説明	単位	策定時(基準値)	2023年度実績	2024年度実績	2025年度実績	2026年度実績	2026年度目標
①	水洗化率(下水道・集落排水・合併浄化槽)	決算統計	%	96.4 (R3)	96.5	96.4			96.9
②	給水人口(上水道・簡易水道)	決算統計	人	16,419 (R3)	16,192	16,104			16,400
③									
④									
成果指標設定の考え方		①公共下水道、農業集落排水、合併浄化槽の生活排水処理による水洗化率として、2026年度目標値を96.9%と設定 ②上水道区域、3簡易水道(上美生・美生・河北)区域の給水人口として、2026年度目標値を16,400人と設定							

2. 施策の事業費

	策定時決算	2023年度決算	2024年度決算	2025年度決算	2026年度決算
施策事業費 (千円)	1,227,928	1,168,851	935,567		

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察									
①2024年度の 成果評価 (前年との比較)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上した	想定され る理由	人口減少に伴い水洗化人口・給水人口は低下して いるが、個別合併処理浄化槽の設置による水洗化、 上下水道・簡易水道の整備は順調に進んでいる。						
	<input type="checkbox"/> 成果は変わらなかった								
	<input type="checkbox"/> 成果は低下した								
②第5期総合計 画後期実施計画 (2026年度)の最 終的な目標達成 状況	<input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成でき る	根拠 (理由)	①について 下水道・集落排水施設の集合処理による水洗化は概成 しており、生活環境の改善が図られ、老朽化施設の再整 備等により、機能保全も進められている。集合処理区域 以外の個別合併処理浄化槽は、要望に対し計画的に設 置し、水洗化は進んでいる。 ②について 上水道区域の拡張工事が完了や老朽化した簡易水道施 設の更新により、水道事業が目的とする安定供給は維持 している。人口減少に伴う給水人口減少から、将来の水 需要予測に基づく近隣自治体との広域化の可能性検 討、簡易水道の一部を上水道化する検討を進める必要 がある。						
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難し いが、現行事業の見直しや新規事業 の企画実施で目標達成は可能								
	<input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施 をしても目標達成は難しい								
(2) 施策の成果評価に対する2024年度事務事業総括									
①施策の成果向 上に対して貢献 度が高かった事 務事業	個別合併処理浄化槽新設事業		②施策の成果向 上に対して貢献 度が低かった事 務事業						
	下水道建設事業								
	配水管整備事業								
	上水道(第6期)拡張事業								
③事務事業全体 の振り返り(総括)	・個別合併処理浄化槽は、農業者の世帯分離や町外からの移住者など非農家住宅の新築に伴う設置 要望がある。 ・下水道施設は、農業集落排水施設を含め、老朽化施設の再整備(改築更新、長寿命化)及び耐震化対 策を進めている。 ・簡易水道施設は、河北地区の老朽化施設更新を道営土地改良事業を活用した北海道との合併施工 により平成26年度から実施し、切換え工事を含め令和6年度に完了した。 ・上水道施設整備は、無水源地域の解消に向けた区域拡張の可能性検討を進めているほか、水道施 設の更新や耐震化を推進するとともに、計画的に老朽管の布設換えを実施している。								
	(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果(計画策定時との比較)								
担当課 評価	人口減少に伴い水洗化人口・給水人口は低下しているが、個 別合併処理浄化槽の設置による水洗化、上下水道施設の更 新・水道老朽管の布設替え、簡易水道施設の更新は順調に進 んでいる。				A	B	C	D	E
				進捗結果			○		

A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して) 大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して) 前進した
D: (後期実施計画策定時と比較して) 変わらない又は維持した E: (後期実施計画策定時と比較して) 後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	・上下水道の整備は産業活動や日常生活を支える重要な社会インフラであり、その安定的な供給と持続可能な経営は、極めて重要な役割である。 ・上下水道事業を取り巻く状況は、人口減少や節水意識の向上により、料金等の収入が減少するなかで、管路を含む施設の老朽化対策、耐震対策、適切な維持管理が必要な状況にあり、また、近年の人件費や物価高騰から経営環境は厳しさを増す状況となっている。 ・経営状況に配慮した事業運営を維持するため、必要な収入の確保として料金等の適正化に努め、効率的で計画的な老朽対策工事や耐震対策工事を進めるとともに、適切な維持管理により持続的に機能保全を図る必要がある。
この施策に対して住民・審議会・議会からどのような意見や要望が寄せられ、どのように改善したか。	・上水道事業の経営面においても、効率的な施設整備と適正な管理や料金の適正化に努め、健全な事業経営の維持のため、安全安心な供給に対する要望がある。 ・郊外地における生活環境及び水洗化の向上を図る個別合併処理浄化槽新設事業は、農業後継者の世帯分離や町外からの移住者等による新規設置要望がある。 ・老朽化施設の再整備について水道というライフラインを守るために採算を度外視して進めなければいけない部分があるとの意見がある。 ・議会から水道事業における広域化・耐震化など、災害に備えた水道施設からの安定供給等について一般質問がある。 上下水道各種施設について、計画的な老朽対策や耐震対策を進めるとともに、適正な維持管理により機能保全を図っている。

5. 施策の課題認識(現状の課題、第5期総合計画後期実施計画期間において新たに取り組むべき課題)

◆取組① 上水道施設の整備強化と維持管理の推進 ・上水道では、「芽室町上水道事業施設整備基本計画」に基づき、施設の更新や耐震化を計画的・効率的に実施していく。 ・下水道では、「芽室町下水道ストックマネジメント計画」に基づき、効率的な維持管理や改築更新・耐震化対策を推進していく。 ・農業集落排水では、「芽室町集落排水施設維持管理適正化計画」に基づき、計画的な改築更新を推進していく。 ・個別合併処理浄化槽では、郊外地(農村部)における下水道施設であり、多くの住民が良好な生活環境を確保するため必要な施設であり「芽室町合併処理浄化槽基本計画」に基づき、整備を推進していく。 ◆取組② 上下水道事業の健全な運営 ・上水道、下水道事業の経営戦略の適宜、見直しを実施していく。 ・人口減少による料金等の収入減少、老朽化対策、耐震対策の実施、物価高騰による維持管理経費の増大から経営環境は厳しさを増す状況にあり、必要な収入の確保に向け、料金等の適正化への検討を進める。 ・「わかりやすい上下水道経営(経営戦略・経営比較分析表・決算書の解説)」の情報提供を進める。
--

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	成果指標等から、前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	A:実現した B:(後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定時と比較して)前進した D:(後期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(後期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	更新や布設替えが順調とあったため前進したと評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	・生活排水について、町民としてできる取り組みを広報してほしい。 ・災害対策も考慮し、施設の耐震化等を進めてほしい。	A:実現した B:(後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C:(後期実施計画策定時と比較して)前進した D:(後期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E:(後期実施計画策定時と比較して)後退した					